

令和元年度大淀川右岸 国営施設機能保全事業

天神ダム選択放流施設管理橋橋脚他工事

天神ダムは宮崎市南部に広がる1,960haの畑を主とする農地を対象として、かんがい用水を活かした高収益性畑作等の実現を目的として建設されました。一方平成13年度のダム完成以降、自然災害による土砂流入に起因し濁水が長期化しするようになり、濁水の河川放流を防ぐ対策として、ダム湖から清水を選択して取水・放流できる取水塔の新設が計画されました。

取水塔基礎の構築と既設放流トンネルとの接続工事を平成28年度から令和元年にかけて弊社で施工しました。工

事中は貯水しながらの水中施工で視界が30cm程度と悪く、水深28mでの作業のため1人当たりの潜水作業時間が約60分/日に制限される等厳しい施工条件でしたが、無事竣工することができました。

今回の工事は、取水塔と湖岸を接続する管理橋（2径間、L=70m）を設置する工事で、仮設構台の造成、橋脚1基（鋼管杭φ1,000mm、4本）と橋台1基（PHC杭φ400mm、4本）の構築、橋桁の設置を行います。平成28年度から施工してきた一連の工事の最後の締め括りとなる工事であり、仮設の作業構台上で大型クレーンによる作業など安全管理に十分留意し、国営事業所監督職員の方々とも連絡を密にして良い品質のものが残せるよう職員一同努めてまいります。



監督職員からのエール

本工事は、国営施設機能保全事業「大淀川右岸地区」を着工する契機となった「天神ダムの濁水対策」として設置する「選択放流施設」の管理橋の橋脚、橋台等を設置する工事です。

橋脚の鋼管杭は、ダム湖内に設置する仮設構台から水中打設することから、正確に施工するための工夫が求められていました。

監理技術者の毛利作業所長は、仮設構台の設置や鋼管杭の打設について、適切な提案・対応を行うことにより、鋼管杭を所定の位置に正確に打ち込むことが出来ました。また天神ダム周辺環境整備活動（千本さくら清掃活動）への参加や地元小学生への説明会を行うなど、現場以外においてもいろいろな活動に取り組んでいます。

引き続き橋台等の施工がありますが、無事故無災害で工事が完成することを願っています。



監督職員

(写真左) 九州農政局宮崎中部農業水利事業所

工事課長 菊池 裕二

作業所長

(写真右) アイサワ工業株式会社

天神ダムⅣ作業所 毛利 正彦